

今年度の活動をお伝えします

NEXT

2023

|

2024

NEWS



一般社団法人

ネクストステップ研究会

持続可能な開発のための教育

ESDチーム

資源循環でヒトの輪を繋ぐ

ごみ削減チーム

里山を今に生かす

里山チーム

豊かな海ってどんな海

アサリチーム



小学生向けごみ減量講座



パラオでESD



まち探検ごみ拾い

各チームの取り組みを基盤にしたESDを実践しています。昨年度作成した小学校4年生向けごみ削減動画を活用した出前講座を、8月には富田学童保育所で、9月には浜田小学校で実施しました。現在、このプログラムを基に、市内のどこでも利用していただける汎用プログラムを作成中です。

パラオ共和国バベルダオブ島のごみ分別を進めるため、現地の小学校教員にESDの手法を習得してもらう研修を担当しています。本年度は、現地研修を2回、日本での研修を1回実施しました。この活動はICETT（国際環境技術移転センター）がJICAの草の根技術支援事業として実施している活動の一環です。

昨年に続いて、大矢知地区で実施しました。まちの歴史を見聞きしながらごみも拾うというもので、誰でも気楽に参加できます。最後には、拾ったごみの種類や量、落ちていた場所をマッピングしていきます。海に流れ出すごみを減らすことを考える場にしたいと思っています。

資源循環でヒトの輪を繋ぐ ごみ削減チーム



初チャレンジ



事業説明会



続けられる仕組み

昨年度、四日市市子ども向けごみ減量啓発映像を作成しました。市役所の出前講座や小学校の授業で使われます。ごみ削減チーム×ESDチームがコラボしたもので、ごみ減量をテーマに考えるESDの教材になっています。これは本会初の一般競争入札で受託した事業でした。

四日市市へ提言していた生ごみの減量・資源化事業がひとつ実現しました。『生ごみや庭ごみを土に還そう』キエーロ・コンポストそれぞれ50台、合計100台のモニター事業です。600台を超える応募があり、サスティナブルな暮らし方を希望する市民の増加を実感しました。

モニター事業では100世帯のごみ減量チャレンジをサポートするための相談窓口を開設しました。適切な設置場所や使い方のアドバイス、継続支援のイベント開催、専用LINE公式を使った役立つ情報の配信・個別チャットや電話での相談対応を行い、市民の行動変容を後押ししました。



南部丘陵公園

公園の南ゾーンで小面積皆伐という手法を使って明るい里山づくりに取り組んでいます。その結果、コナラやイロハモミジなどの若い広葉樹の林が出来てきました。それに伴って、全く見られなかったササユリが復活し、絶滅が危惧される動物も確認されるようになってきました。



笹竹のヒンメリ

里山整備で出る木や竹は、できるだけチップ化して土に戻しています。また、時には木や竹を使った工作教室にも活用しています。最近取り組んでいるのが笹竹を使ったヒンメリ工作です。ヒンメリは、北欧フィンランドの伝統的な装品で、本来はライ麦のわらで作られます。



メリノールの竹林

四日市メリノール学院と隣接する国の天然記念物「御池湿原」の間で放置されたままになっていた竹林の整備をしています。一部は雑木林に、また一部は明るい竹林にして教育活動に利用してもらう林を目指しています。同時に伐採した竹はチップ化して有効活用も図っています。

豊かな海ってどんな海 アサリチーム



アサリの育成

四日市市漁業協同組合と協働して磯津海岸でアサリを育成しています。牡蠣がらを原料とするケアシェルをネットに入れたケアシェルネットを海岸に並べておくとアサリの幼生が入って育つという方法で、子どもでも取り組みます。開発した鳥羽市の浦村アサリ研究会の指導を受けながら取り組んでいます。



海的环境学習

小学生等を対象に、これまでに環境学習講座を3回開催しました。四日市市の漁業について知り、ケアシェルネット作りや海岸での生き物観察などの楽しい体験を通して、海的环境について学びました。アサリ育成を通して、豊かな海とはどんな海なのかみんなで考えていきたいと思っています。



漁協や行政との協働

四日市の海は、かつて公害による水質汚濁を経験し、今は温暖化による海水温上昇や貧栄養化などの環境変化に直面し、生き物が減り漁獲量も激減しています。きれいで豊かな伊勢湾を目指して、漁協を始め三重県や四日市市の水産や環境関係の部署、また市民団体とともに協議しました。

「持続可能な社会を作るための
場づくり・人づくり・つなぎ役
として役立ちたい」

Representative
Takuji Terada

環境教育からスタートした私たちの団体もメンバーが増え、取り組みも多様になってきました。よく「ネクストさんは、いろいろなことをやっているけど何を目標しているの」と尋ねられることがあります。私たちの目指すものは、これです。

本会では、会員が取り組みたい内容を企画、提案し、承認されればチームを作って活動をしていくというスタイルを採っています。こうした活動の現在地を知っていただくために、このリーフレットを作成しました。

活動は年々変化していきます。これからも定期的にお知らせできるようにしていく予定です。

私たちの各活動は、互いに刺激しあい、協働しあいながら進んでいます。皆様方の業務や活動とも連携して好循環を作ることができたらと思います。私たちの活動を知って、何かのお気づきがあれば、是非お知らせください。



代表
寺田 卓二

環境省中部パートナーシップオフィス
協働コーディネーター
四日市自然保護推進委員会 副会長

【私たちにお声がけください】

- ESD, SDGs の取り組みを進めたい。
参加型ワークショップでお答えします。
- 近所の竹林、里山を整備したい。
私たちのノウハウを提供し、一緒に考えさせていただきます。
- 生ごみ、家庭ごみを削減したい。
消滅型生ごみ処理器キエーロを中心にしたごみ減量をお勧めします。
キエーロの販売、アフターフォローもお任せください。
- アサリの育成や豊かな海づくりに興味がある。
是非、磯津の浜で一緒に活動しましょう。

私たちの活動にご賛同いただき
活動を支援いただける皆様のご寄付をお願いします。
一口1000円からとなっております。

口座情報：三十三銀行 四郷支店
普通 1134928
シャ) ネクストステップケンキュウカイ



<HP>



<LINE公式>



090-3935-5374



〒510-0962
四日市市波木が丘町23-5



nextstep.yokkaichi@gmail.com



http://ee-nextstep.com